

令和6年度 デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）の効果検証について

デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）は、デジタル技術を活用し、地方の活性化や行政・公的サービスの高度化・効率化を推進するため、デジタル実装に必要な経費を支援することを目的に令和5年度に創設されました。
事業費（交付対象経費）の1/2が交付金として国から交付されます。
本市では、令和6年度においてはデジタル実装タイプ4事業を実施し、約4,469万円が交付されました。事業の詳細は以下をご覧ください。

本市交付額（令和6年度） 4,469万1,897円
（総事業費 9,039万1,727円）

事業①	公共施設予約システム導入事業		
担当課	スポーツ振興課		
事業期間	令和6年度 ～		
事業概要	公共施設予約システムを導入することにより、利用者は24時間いつでも予約・利用の申込みや予約変更・確認が可能となるもの。また、各施設にはシステムに連動したデジタルサイネージを設置して施設の予約状況や利用案内を表示することにより、現場でもわかりやすさ・使いやすさを享受することが可能となるもの。		
事業費	2,001万4,500円（うち交付金充当額：1,000万7,250円）		
成果目標	成果目標① 公共施設予約システムの利用件数（件）		
	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実績
	(事業開始前)	20,000件	7,961件
	成果目標② デジタルサイネージでの情報発信回数（回）		
	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実績
	(事業開始前)	2,000回	300回
	成果目標③ 公共施設予約システムの利用者満足度（％）		
	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実績
	(事業開始前)	60％	65％



▲ 伊勢崎市施設予約WebサイトTOP画面
まとめ（検証結果）

成果目標①「公共施設予約システムの利用件数」については目標未達成となったが、チラシ配布やホームページでの周知により利用拡大を図っている。
成果目標②「デジタルサイネージでの情報発信回数」についても、活用方法を関係課との協議や他自治体の例を参考にしながら目標達成を目指していきたい。
成果目標③「公共予約システムの利用者満足度」については、施設の空き状況や予約の抽選結果がオンラインで確認できること、24時間スマートフォン等で予約ができることなど利用者の負担軽減につながる効果が高く評価され、目標達成となった。
令和6年度については、成果目標の未達成事項はあるものの、利用者満足度については当初の予定を上回る結果を得られたため、事業開始前と比較して利用者、職員の負担軽減、利便性向上に効果があったと考える。今後も利用者、施設管理所属からの意見を集約し機能改善、利用拡大に繋げていく。

令和6年度 デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）の効果検証について

デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）は、デジタル技術を活用し、地方の活性化や行政・公的サービスの高度化・効率化を推進するため、デジタル実装に必要な経費を支援することを目的に令和5年度に創設されました。
事業費（交付対象経費）の1/2が交付金として国から交付されます。
本市では、令和6年度においてはデジタル実装タイプ4事業を実施し、約4,469万円が交付されました。事業の詳細は以下をご覧ください。

本市交付額（令和6年度） 4,469万1,897円
（総事業費 9,039万1,727円）

事業②	口座振替Web申込サービス導入事業
担当課	収納課
事業期間	令和6年度 ～
事業概要	市民が窓口で書類を提出している市税等口座振替の手続きについて、市民からのパソコン、スマートフォン等によるWeb申請を導入し、RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）の活用による事務効率化を進めながら、市民の時間的制約を排し、利便性の向上を図り、収納率の向上につなげるもの。

事業費	773万2,109円（うち交付金充当額：386万6,054円）		
成果目標	成果目標① Web口座振替申込件数（件）		
	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実績
	（事業開始前）	1,800件	1,912件
	成果目標② 1年間の納付全体に占める口座振替納付の割合（％）		
	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実績
	（事業開始前）	40.2％	38.05％
	成果目標③ 利用者の満足度（ポイント）		
	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実績
	（事業開始前）	3ポイント	3.9ポイント



▲ 口座振替Web申込サービス告知のポスター、チラシ
まとめ（検証結果）

成果目標①「Web口座申込件数」については、市広報誌等による周知だけでなく、市内金融機関へのチラシ配布や地域情報誌への広告出稿などによる認知度向上策が効果を発揮し目標達成となった。
成果目標②「1年間の納付全体に占める口座振替納付の割合」については、サービス開始時期が口座振替申込時期のピーク後であったため、令和7年度はピーク時に向けた周知を強化しweb申込増加に繋げていく。
成果目標③「利用者の満足度」については、オンライン化により金融機関へ出向く必要がなくなったことや、休日や夜間など利用者の都合に合わせて手続きが可能となった点を評価する声が多く、目標達成となった。
令和6年度については、市民の利便性向上に対して相当程度成果があったと考える。今後は周知強化や、サービスの利用方法に対する利用者の不安解消に取り組み利用者拡大に努めていきたい。

令和6年度 デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）の効果検証について

デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）は、デジタル技術を活用し、地方の活性化や行政・公的サービスの高度化・効率化を推進するため、デジタル実装に必要な経費を支援することを目的に令和5年度に創設されました。

事業費（交付対象経費）の1/2が交付金として国から交付されます。

本市では、令和6年度においてはデジタル実装タイプ4事業を実施し、約4,469万円が交付されました。事業の詳細は以下をご覧ください。

本市交付額（令和6年度） 4,469万1,897円
（総事業費 9,039万1,727円）

事業③ 行政DX推進事業

担当課 事務管理課

事業期間 令和6年度 ～

事業概要

「オンライン手続きガイドサービス」「総合窓口支援サービス」「セミセルフレジへのキャッシュレス決済サービス」等、行政手続きに係る複数のDXサービスを一体的に実装し、市民が「行かない」、「迷わない」、「待たない」、「書かない」窓口を実現するもの。また、市役所窓口の混雑解消を目指し、来庁する市民の待ち時間低減や申請書記入等の負担を軽減するもの。

事業費 4,447万9,688円（うち交付金充当額：2,173万5,878円）

成果目標

成果目標① オンライン手続きガイドサービスの利用件数（件）

令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実績
(事業開始前)	400件	0件

成果目標② 総合窓口支援システムを利用した受付件数（件）

令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実績
(事業開始前)	50件	269件

成果目標③ キャッシュレス決済対応セミセルフレジでのキャッシュレス決済率（％）

令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実績
(事業開始前)	2％	12％



▲ キャッシュレス決済端末（左側）と総合窓口支援システム（右側）

まとめ（検証結果）

成果目標①「オンライン手続きガイドサービスの利用件数」については、令和6年3月上旬のサービス開始を予定していたが、機能部分の調整、設定について事業者と協議に時間を要した結果、3月末のサービス開始となっており、サービス周知のための時間の確保が出来ず利用に繋げることが困難であった。

成果目標②「総合窓口支援システムを利用した受付件数」については、総合窓口にて取り扱うべき手続きの洗い出し、受付方法の見直しを関係部署と入念に実施した結果、目標値を上回る結果となった。

成果目標③「キャッシュレス決済対応セミセルフレジでのキャッシュレス決済率」については、広報誌等の周知だけでなくレジ前でのPOPによる周知や、決済方法を21種類と幅広く揃えたことにより目標を達成することができた。

令和6年の総括としては、一部未達成の成果目標はあるが、市民の利便性向上に効果があったと考える。今後もオンラインによる手続きの充実や総合窓口の充実を図り、市民、職員それぞれの負担軽減に繋げていきたい。

令和6年度 デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）の効果検証について

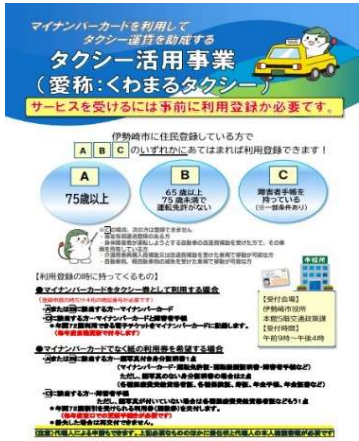
デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）は、デジタル技術を活用し、地方の活性化や行政・公的サービスの高度化・効率化を推進するため、デジタル実装に必要な経費を支援することを目的に令和5年度に創設されました。
事業費（交付対象経費）の1/2が交付金として国から交付されます。
本市では、令和6年度においてはデジタル実装タイプ4事業を実施し、約4,469万円が交付されました。事業の詳細は以下をご覧ください。

本市交付額（令和6年度） 4,469万1,897円
（総事業費 9,039万1,727円）

事業④	マイナンバーカードを活用したタクシー活用事業
担当課	交通政策課
事業期間	令和6年度 ～
事業概要	マイナンバーカードを活用したタクシー運賃助成システムを導入するもの。マイナンバーカードを活用することで運賃助成制度の利用登録の手続きを簡略化し、また、タクシー乗車時にはカードをかざすだけで本人確認及び助成申請が可能となる。家族の支援なしで安心して外出できる市を作り、賑わい創出につなげる。

事業費	1,816万5,430円（うち交付金充当額：908万2,715円）
-----	-----------------------------------

成果目標	成果目標① タクシー活用事業登録者数（人）		
	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実績
	(事業開始前)	1,800件	3,534件
	成果目標② タクシー活用事業利用回数（回）		
	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実績
	(事業開始前)	27,000回	8,668回
	成果目標③ タクシー活用事業説明参加人数（人）		
	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実績
	(事業開始前)	300人	627人



▲ タクシー活用事業（くわまるタクシー）利用登録案内
まとめ（検証結果）

成果目標①「タクシー活用事業登録者数」については、事業開始の4か月前からの早期の周知活動や、利用申し込みの出張受付が効果的に作用し目標達成となった。
成果目標③「タクシー活用事業説明参加人数」についても、単独の説明会だけでなく地域で実施される各種会議と同時に実施することで成果を上げ、成果目標①の達成にも寄与したと考える。
成果目標②「タクシー活用事業利用回数」については、登録者1人あたりの利用回数が想定を下回り未達成となったため、タクシー事業者と連携しながら登録者の増加だけでなく利用の促進を図っていく。
令和6年度については、利用回数実績について課題が残ったものの、当初目標を上回る登録者数を確保できたため、相当程度効果があったものと考えます。今後は関係各所と連携し登録者数の増加と合わせて利用頻度を上げる取組を行っていく。